

# 平成29年度一般会計・各特別会計決算及び平成30年度補正予算について

～決算12件を認定、議案19件を可決・同意決定、諮問4件を適任決定～

平成30年第3回定例会が9月7日から26日までの会期中で開かれて、平成29年度一般会計・各種特別会計決算は、決算審査特別委員会の審議を経て認定しました。

また、議案19件や諮問4件を審議し、いずれも原案可決、同意決定、適任決定しました。

## 主な議案

▽平成30年度一般会計補正予算(第2号)を定めることについて

放課後児童健全育成事業の国県補助金の補助基準額改定に伴う事業費の調整、中赤崎地区道路新設・改良事業や東日本大震災映像コンテンツ多言語化事業をはじめとした復旧・復興に関する経費等の補正を行うもので、補正予算の規模は1億3180万円の減額で、本年度の一般会計予算総額は、324億390万円となりました。

▽綾里浄水場マンガン除去施設整備工事の請負契約の締結について

- ・契約の方法 指名競争入札
- ・請負契約金額 3億7638万円
- ・契約の相手方 前澤工業株式会社東北支店
- ・工期 平成32年3月25日まで

▽固定資産評価審査委員会委員の選任について

次の委員2名の選任に、同意しました。

- ・鈴木信男 氏(日頃市町)
- ・金 哲朗 氏(日頃市町)

▽教育委員会委員の任命について

次の委員2名の任命に、同意しました。

- ・熊谷テイ子 氏(三陸町綾里)
- ・村谷志保 氏(盛町)

## 諮問

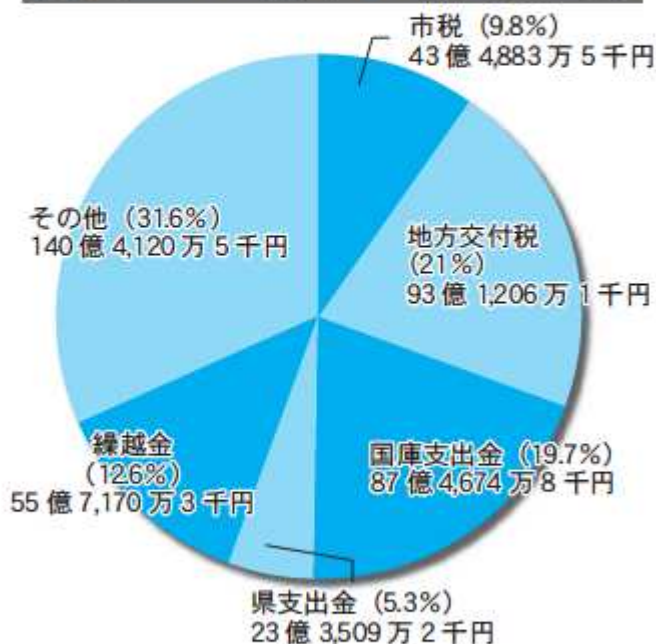
▽人権擁護委員の推薦について

次の委員4名の推薦に、適任決定しました。

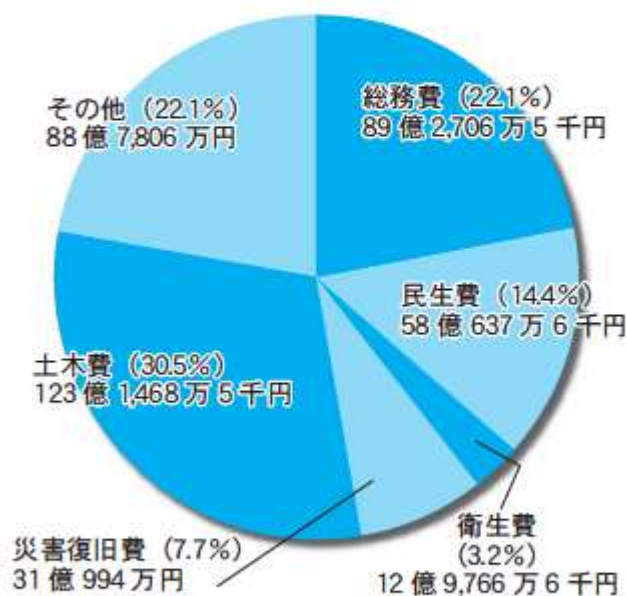
- ・伊藤 聰 氏(盛町)
- ・菅原圭一 氏(大船渡町)
- ・細川幹雄 氏(末崎町)
- ・奥山幸子 氏(日頃市町)

## 平成29年度 一般会計決算

歳入 443億5,564万4,705円



歳出 403億3,379万2,368円



## ■歳入決算の状況

(単位：円)

年度	予算現額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	執行率
平成29年度	46,422,081,329	44,355,644,705	8,395,311	1,662,090,038	95.5%
平成28年度	65,756,106,097	62,102,395,781	8,074,977	2,961,568,441	94.4%

## ■歳出決算の状況

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
平成29年度	46,422,081,329	40,333,792,368	4,482,843,220	1,605,445,741	86.9%
平成28年度	65,756,106,097	56,530,691,953	6,226,113,329	2,999,300,815	86.0%

## ▼平成29年度決算健全化判断比率

(単位：円)

年度	27年度	28年度	29年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	10.9	10.6	10.8	25.0	35.0

●実質公債費比率とは、地方債の元利償還金が財政に及ぼす負担を示す指標。18%以上になると起債の発行に国の許可が必要となる。25%以上になると一般事業等の起債が制限される。

# 全 員 協 議 会

7月27日、10月4日に全員協議会が開催されました。内容は次のとおり。

### 7月27日開催

- 復興交付金事業計画について
  - ・震災記録整理公開事業 500万4千円
  - ・津波避難計画等整備事業 1312万2千円
  - ・避難誘導標識整備事業 1381万7千円

### ○大船渡駅周辺地区土地区画整理事業等の進捗状況について

- ・仮換地の整理後面積の60・4%について使用収益を開始。
- ・盛土工事は地区全体予定盛土量約67万㎡に対し、約66万㎡実施。
- ・換地処分に伴う字界の変更などを行う。
- ・防災観光交流センターを整備し、指定管理者として一般社団法人大船渡市観光物産協会が施設の管理・運営を行っている。

### 10月4日開催

### ○大船渡市地域防災計画の修正(案)について

平成28年熊本地震、平成28年台風第10号災害を踏まえた

防災基本計画の修正及び岩手県地域防災計画の修正との整合を図るとともに、その他所要の見直しを行うものです。

### ▼主な修正項目

- ①防災基本計画修正に伴う見直し
  - ・避難行動要支援者名簿情報の適切な管理
  - ・物資輸送にあたり、緊急輸送ネットワークの形成
  - ・罹災証明書の交付に必要な業務の実施体制の整備
  - ・要配慮者利用施設の避難確保の計画策定や避難訓練の実施状況等を定期的に確認
  - ・県は、市町村等へ河川の浸水想定の情報を提供
  - ・在日外国人や訪日外国人の避難誘導が迅速に行われるよう配慮
- ②岩手県地域防災計画修正に伴う見直し
  - ・ドローンによる被害情報の収集
- ③市の防災施策を踏まえた見直し
  - ・津波避難マップの作成に伴う修正

### ○ILCと共生するまちづくりビジョン(案)に係る中間報告について

本ビジョンは、国際リニアコライダー(ILC)実現に

伴う効果を最大限に生かすための諸活動の取組指針として、策定したものです。本ビジョンの基本的な考え方は、次のとおり。

- ①復興の推進及び復興後の当市の持続性の確保
  - ②当市の特徴と各種計画との整合の重視
  - ③広域連携の中で当市が担う役割を示す
  - ④インフラ施設などの有効活用と民間活力の誘発
  - ⑤社会関係資本(サービス)の整備
  - ⑥人材育成の重視
- また、ILCと共生するまちづくりにおける課題は、次のとおり。
- ①低未利用地域資源の適切な管理と活用
  - ②「関わり」の拡大に向けたシティブロモーションの強化
  - ③交流拡大に向けた人材育成
  - ④モビリティ・公共交通体系の強化に向けた取組
  - ⑤当市及び気仙地域の強みの活用
  - ⑥広域生活圏の進展に向けた取組
  - ⑦地域エネルギー供給を取り入れたまちづくりの検討
  - ⑧波及効果などの定量的算出
  - ⑨推進体制の構築